

OFF-ROAD RACER

Featuring Unique All-Wheel Steering!

PROGRESS 4-wds

1:10 SCALE RADIO CONTROLLED ELECTRIC POWERED

SPECIAL OFF-ROAD RACING BUGGY

4 WHEEL DRIVE & 4 WHEEL STEERING

電動ラジオコントロール レーシング バギー
四輪駆動+四輪ステアリング

プログレス4-wds

1:10 SCALE

BATTERY: 7.2V-1200mAh

RADIO: 2ch.

(NOT INCLUDED)



TECHNICAL DATA

- Length/395mm (15.6")
- Width/230mm (9.1")
- Ground clearance/27mm (1.1")
- Wheelbase/262mm (10.3")
- Front tire/85mm dia x 32mm (3.35 x 1.25")
- Rear tire/85mm dia x 40mm (3.35 x 1.57")
- Motor/Mabuchi RS-6408
- Total weight/1640g (57.8 oz)



組立て説明書

KYOSHO
THE HIGHEST QUALITY RACING MODELS

KIT No.3067

PAT. P.
INSTRUCTION MANUAL

PROGRESS 4-wds

ラジコンコントロールプロボとは

このラジオコントロールモデルには2チャンネル、2サーボ、デジタルプロポ方式のラジオコントロール(R/C)モカを使用します。



2チャンネルプロボは1セット購入しておけばいろいろな形にモデルを構築できます。
(2チャンネルプロボで形に構築できるもの)



ニカドバッテリーとは

正式にはニッケルカドニウム電池といい充電して繰り返し使用できる電池なので乾電池よりはるかに経済的で電圧も一定しているので、R/Cモデルの動力用電源に最も適したバッテリーです。

直販では644-1200バッテリーとか7.2Vレーシングバッテリーというように明記し販売しております。

6N-1200バッテリーとは、1.2V1200ミリアンペアの電池を6本直列にパックしたバッテリーです。

※三カドバッテリーはR / Cカー、船などいろいろなものに簡単に使用できます。

キット以外に求めいただくもの

(空手チャンピオンズ四郎)

プログレスとWDSに搭載できる受信機。サーボの大きさは特に大
型でないかぎりほとんどのものが搭載できます。



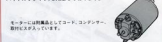
《流行周二方下45岁女子》

このR/Cカーには実働2カ月のバッテリー寿命—約1200又は7,200レース
でバッテリーが壊れます。



(七—九—)

プロGRESS 4WD SにはマフチR S-540 Sモーターが標準装備してありますがレース用にマッチングしたレーシングモーター「ル・マン 600 E」(汎用ハイトルクタイプ)と「ル・マン 360 P」(ハイパワー、ハイトルクタイプ)を用意しております。



《三男ドバッチリ一発電線》

※高容量ニカドバッテリーは高性能で正しく充電すれば300回以上繰り返し使用できます。充電は家庭用100Vコンセントから行なう15時間充電器と自動車のシガーライター又は、12Vバッテリーから行なう15分の急速充電器の2種類があります。

組み立てに必要な工具と
接着剤など

(キットに入っている工具)



進行中の振動などによりヒス、ナットなどがゆるんだり脱落を防ぐのに使います。

《用意する工具等》



(附錄廿五 經濟圖)



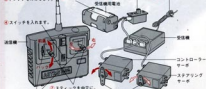
(塗装に必要なもの) ススキング用
塗料、サビ止
サインテープ



※塗装については取組書の塗装の項に詳しく出ています。

プロボのチェック 番号順にラジオコントロールメカを動作してみます。

③ アンテナをのびします。④ 電源を入れます。⑤ スイッチを入れます。⑥ アンテナをのびします。



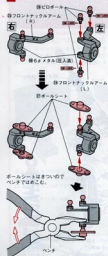
④ トリムレバーを中立に。 ⑤ 止まっている両脚がニュートラルです。

●プロのスイッチを入れるときは送信機を入れてから受信機のスイッチを入れます。
 初めとまじりに受信機、送信機の順に切るようにせまっています。

2チャンネルプロボは、送信機、受信機、サーボ、電池ボックスなどから成り立っています。

- 送信機……移動するコントロールボックスでステッピングの動きを電波でアンテナから発信します。
- 受信機……送信機からの電波を受け取るように構えます。
- サーボ……受信機がけた電波をモーター、ギヤを使い車のコントロールユニットを動かす仕組みです。
- アンテナ……送信機のアンテナ電波を送り出し、受信機のアンテナは電波が入る重要なものなのでいっぱい伸ばします。
- トリムレバー……送信機のトリムレバーはサーボの中央（ニュートラル）をずらし、車の前、左のギアアリアング及びコントロールローラーの前直、バックの位置を無調整するレバーです。
- レベルメーター……送信機の床の盛り及び電波の発出状態を確認するメーターです。
- サーボギア……サーボと移動のコントロール部をつなぐもので

3 フロントサスアームの組立て



4 フロントサスアームの取り付け

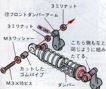
(使用する小物パーツ)



ゴムパイプをミリに2コカットします。
リアダンパーに使用



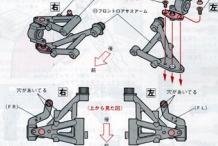
ゴムパイプがつかないよう3ミリナットのしめ方を調整します。



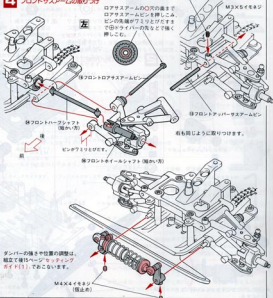
3 フロントサスアームの組立て

※間違いないでよく図を見ながら組み立ててください。

(使用する小物パーツ)



4 フロントサスアームの取り付け

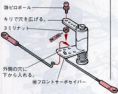
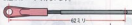


5 フロントサスペンションとタイロッドの取り付け

●ロッドは長さや形状の違う種類が入っています。厚寸図に合わせて使用して下さい。



●図の位置までボールエンドをねじこみます。調整は16ページで行ないます。



(タイロッド取りつけ完成図)



左側はここを持ち上げて入れる。右側はボスの間を通す。

6 リアササアームの組立て

(使用する小物パーツ)

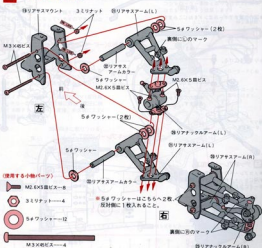


5 フロントサスペンションとタイロッドの取り付け

(使用する小物パーツ)



6 リアササアームの組立て



(使用する小物パーツ)



※5φワッシャーはこちらへ2枚、反対側へ1枚入れること。

7 メインシャーシの組み立て

(使用する小物パーツ)

- M2.6X6タッピングビス ー2
- M3X6ビス ー7
- M3X6タッピングビス ー3
- M3X10タッピングビス ー2
- 3ミリナット ー7

●セレクションホルダーのとりつけ位置は下図のようにして下さい。



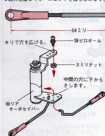
8 リアサスペンダーの取り付け

(使用する小物パーツ)

- ビロボール ー1
- 3ミリナット ー1
- 4ミリナット ー1
- ボールエンド ー2



●図の位置までボールエンドをねじこみます。



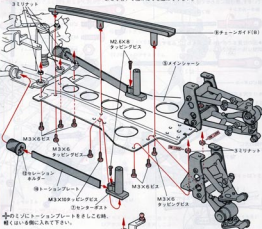
9 デッキプレートの加工

●メカプレートのサーボ割付穴は小型サーボ用にセットされていますので、使用するサーボに合わせてカットします。



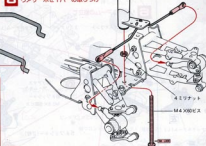
7 メインシャーシの組み立て

3ミリナット



⑤のミゾにセレクトプレートを差しこむ時、軽くはいる側に入れて下さい。

8 リアサスペンダーの取り付け



9 デッキプレートの加工



(加工順序)

①使用するサーボの寸法を計り、左図の点線位置にキリなどで寸法線を引きます。



②カッター又はメソを使って少しずつ寸法線までけずり切って下さい。



12 プロボの動作テスト

（プロボの正しい取扱い方）

プロボの正しい取扱い方はプロボについている取扱い説明書をもとに読んで正しく取扱い下さい。特に電池の③④の入れ間違いには注意しましょう。

（プロボ受信機の電源について）

②サーボの接続でスイッチの加工をしましたから、受信機の電源には右図のように並行用ニカドバッテリーを使用します。ニカドバッテリーは十分に充電したものでないとプロボが正しく動作しません。

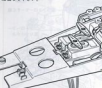
スーパーニカド東産用充電器



ニカドバッテリー

13 受信機の取組

●プロボが正常に動作しましたら受信機を接続して下さい。



こちら側は軸ゴムでしる。

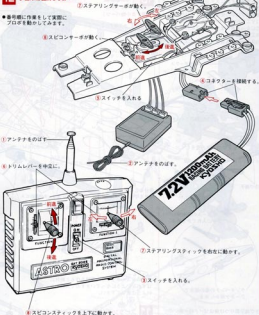
サランラップ

こちら側は折れたらむ。

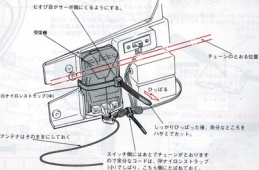
受信機は防水。防じのためのサランラップなどに包んでおきます。

12 プロボの動作テスト

●番号順に作業をして実際にプロボを動かしてみます。



13 受信機の取組



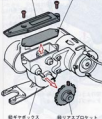
16 ギヤボックスの取り付け

(使用する小物・パーツ)



●組立後のギヤボックスから下記のパーツをはずします。

前ギヤボックスカバー 前ギヤボックスバックギン

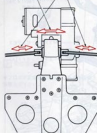


(ギヤボックスの位置決め)

●左右のスイングシャフトのガタが同じになるよう、ギヤボックスを左右に調整しながら4本のビスを締め下さい。

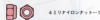
同じガタになるように。

ギヤボックスを揺る。



17 リアスプロケットとギヤボックスカバーの取り付け

(使用する小物・パーツ)



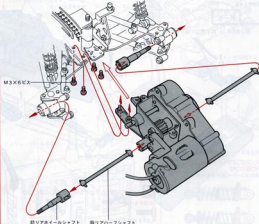
●リアスプロケット取り付けの時は、フロントスプロケットやチェーンガイドに正しくチェーンが乗っているか確認します。

フロントスプロケット チェーンガイド



16 ギヤボックスの取り付け

(注) ギヤボックス内のピンオンギヤは、必ずしてありますので95ページのスピコンセッティングの後、ギヤ比の調整方法の時に取りつけて下さい。



(注) リアホイールシャフト、リアハーフシャフト、ギヤボックスを同時にセットしてからM3X6ビスで固定します。

17 リアスプロケットとギヤボックスカバーの取り付け

4.5リナイロンナット
しめずからリアサーボセイバーが回転できなくなるのでスキマがなくなる程度にしめて下さい。

②ではずしたM3X6ビス

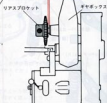
(注) リアスプロケットを取りつける時はシャフトの中に入りこまないようラジオペンチでおさえておきます。

②ではずしたM4X4イモネジ

前リアスプロケット

ロケットにネジを合わせる。

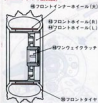
0.5ミリすきまをあげる。



21 タイヤの組立て

●前後輪は、組立て方は同じですが右図を参考に組立ててください。

(フロントタイヤ取組図)



(リアタイヤ取組図)



22 タイヤの取りつけ

●フロントタイヤは右左の区別がありますから注意して下さい。

(裏から見た図)



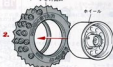
21 タイヤの組立て

インナーホイールは
つぎように入れます。



3. タイヤ裏側はホイールがはまりにくいので、ドライバーをガイドしながら指で押しこんで下さい。

マークを外側に



4. タイヤとホイールのスキマを指で少し広げ、両側縁を滑らせて下さい。裏側は、全体に流します。



(注) タイヤがつぶれた状態のまま圧着すると元にもどらなくなりやすいためタイヤにはできるだけ力を加えないようにしながら圧着して下さい。

22 タイヤの取りつけ

(リアタイヤの取りつけ方)

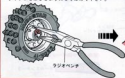


(使用する小物パーツ)



(フロントタイヤの取りつけ方)

リングをミゾにのせてラジオペンチでリングとシャフトをはきむようにはめて下さい。



(注) 失脚するとリングがどこかに飛んでなくなってしまうことがありますので手でおいながらラジオペンチに力を入れて下さい。



22 モーターカバーの取り付け

●カットラインに合わせ、グレーの部分を
カッター、ハサミなどでカットします。



モーターカバー

23 ボディとドライバーのカット

●カットラインに合わせ、グレーの部分を
カッター、ハサミなどでカットします。



ボディとドライバー



ドライバー



斜線部分はハサミで
カットします。

24 ボディの塗装

プログレス4-mls のボディはポリカー
ボネートという透明のプラスチック板をボ
ディに成型したもので出来ています。ポリ
カーボネートを塗装するときは裏面から塗
った方がきれいに塗装できます。塗料の付
き具合をよくするために、中性洗剤を使い
よく洗った後、油などを付けないように
乾かして下さい。

25 ボディの塗装

一色塗りの時はボディ内面全体を2-3回塗れば
良いのですが、2色以上に色分けする時は粘着テープ
やミタクロラインテープなどを色分けす
るラインに貼ります。濃い色から塗り最後に
ボディ全体に薄い色を塗ります。

26 ボディの塗装

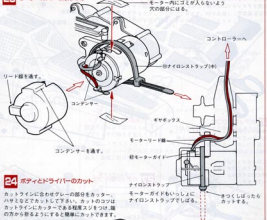
一色塗りの時はボディ内面全体を2-3回塗れば
良いのですが、2色以上に色分けする時は粘着テープ
やミタクロラインテープなどを色分けす
るラインに貼ります。濃い色から塗り最後に
ボディ全体に薄い色を塗ります。

27 ボディの塗装

一色塗りの時はボディ内面全体を2-3回塗れば
良いのですが、2色以上に色分けする時は粘着テープ
やミタクロラインテープなどを色分けす
るラインに貼ります。濃い色から塗り最後に
ボディ全体に薄い色を塗ります。

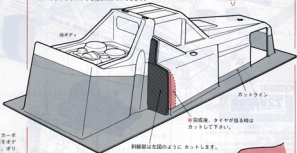
28 モーターカバーの取り付け

デカールの透明部分をカットし、
モーター内にゴミが入らないよう
穴の部分にはる。



29 ボディとドライバーのカット

カットラインに合わせグレーの部分をカッター、
ハサミなどでカットして下さい。カットのコツは
カットラインにカッターである程度スジをつけ、端
の方から切るようにすると簡単にカットできます。



30 ボディの塗装

一色塗りの時はボディ内面全体を2-3回塗れば
良いのですが、2色以上に色分けする時は粘着テープ
やミタクロラインテープなどを色分けす
るラインに貼ります。濃い色から塗り最後に
ボディ全体に薄い色を塗ります。



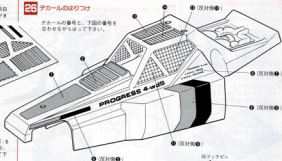
26 デカールのはりつけ

●デカールをハサミでカットします。余白を残さずギリギリに切り抜くと仕上がりきれいに出来ます。



26 デカールのはりつけ

デカールの番号と、下図の番号を
合わせるがらはって下さい。



27 ボディの取り付け

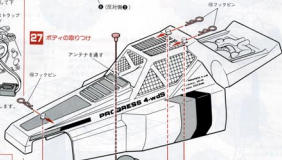
●16ページの「セッティングガイド(1)」を
おこなってからボディ、ドライバー人形、
ニカドバッテリーなどの取り付けをして下
さい。

このストラップはきつく
しぼってもこのゴッチを
押せばはずれるようにな
っています。



しぼった状態で40ミリの所でカットします。

27 ボディの取り付け



kyosho



ニカドバッテリーは電動レーシングカーの性能
を十分に発揮できる高性能バッテリーをお選び
下さい。
本誌では特にレーシングカー用にセレクトされ
た高性能のレーシングバッテリー7.2Vを掲載
してあります。 No.2210

(使用する小物パーツ)



⑥ (反対側)

このネットをはずして
ドライバー人形
をとめる。

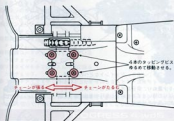
コネクターは接続後、バッテリーと
シャーシの間に押しこんで下さい。



組み立てが完了したら必ず下記のセッティングをおこなってください。

(チェーンの調整)

フロントシャフトホルダーを前後に移動させ、チェーンの張り具合を調整して下さい。



①理想的なチェーンの張り

チェーンガイド(A)の中央付近で、チェーンを軽く持ち上げた時10ミリ程度の遊び間があるように調整すると抵抗もなくスムーズに駆動します。



②チェーンガイド(A)での調整

チェーンガイド(A)の中央のタッピングビスをまわすとチェーンの張力調整が出来ます。

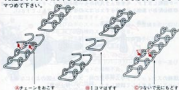


チェーンが張りすぎる時は—
回転が重くなり、パワーロスが大きくなる。

チェーンがたるみすぎの時は—
チェーンが回転中、パタパタと振動が始まります。こうなったら、チェーンの調整をして下さい。

③チェーンのびすぎた時は—

チェーンは使用していると少しずつ伸びてきます。時々点検し、①になるよう調整して下さい。のびすぎて調整しきれなくなりましたらチェーンを一新してみてください。

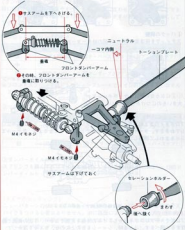


(サススプリングの調整)

粗走行の時は図のようにスプリングの強さを調整しその後確認にあわせ、スプリングの強さを変えて下さい。

①フロントサススプリング

フロントダンパーアームはフロントサスアームを下げた状態で図のように左右両、垂直に取り付けます。



②トーションプレート調整

セーレンホルダーを後方へ強く、内側へ回すと強くなり、外側へ回すと弱くなります。通常はニュートラル状態(6ページ)又は—コマ内側に調整します。

③リアスプリング



《スピコンのセッティング》

8ページ「プロポの動作テスト」と同じように3.2Vニカドバッテリーを接続し、プロポを動作させます。この時、スピコンの停止位置によっては、動力用モーターが回転しますが、ギヤボックス内のモータービニオンギヤがはずれてしまうので心配ありません。あせらずスピコンのセッティングをして下さい。



送信機のスティック、トリム共中立の時、スピコンが上図のようになるよう、ボールエンドをまわして調整します。(モーター停止位置)

①高速「ハイ」の調整

スティックを前進側に倒し、下図のようにコントローラーホーンが回転し、モーターがハイになればOK。モーターの音を聞けばロー、中スロー、ハイがわかります。



②バックの調整

スティックを後進側に倒し、下図の時モーターが回転すればOK。

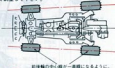


①②にならない時は、サーボホーンを大きいものにつかえて下さい。



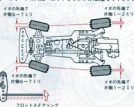
《トーンインの調整》

プロポをそのまま動作させておき、ステアリングスティック、トリム共中立にしておきます。タイヤを接地させた状態で下図のようになるよう、各ボールエンドをまわして調整して下さい。



《舵角のセッティング》

プロポでステアリングを動かし、イボの先端を定規ではかり、下図の範囲で動作するか調べます。はかるとき、シャーシを台の上にのせ、タイヤを浮かしてはかして下さい。動きが多すぎる時はサーボホーンの内側へロッドをつけかえ調整して下さい。



《オイルの注入》

①ギヤボックスカバーをはずし、オイルを2〜3cc入れます。



時々オイルを点検し、減ってれば補充して下さい。よごれやひびいれは新しいオイルに交換します。

②シャフト、メタル、ジョイントなどへの注油は、フロンティアホビーオイルなどのサラッとしたオイルを少量ぬり、余分なオイルは布でふき取ります。なびりの強いオイルをぬると走行中泥が付着し、結果的に良くありません。



③スピコンへ直接注油してはいけません。スパークの火花がオイルに引火し危険です。スピコンの動きが急に注油したい時は、フロンティアホビーオイルを布につけ、パッキンに薄くぬる程度にします。



《注油してはいけない箇所》

①サイドギヤカバー内のビニオンギヤ、アイドルギヤ、センターギヤ、カウンターギヤには絶対にオイルをぬってはいけません。ギヤにホコリや砂が付着し、歯が破損することがあります。

②チェーン、スプロケットにもオイルをぬってはいけません。ホコリが付着すると動きが固くなり、破損がふえてしまいます。

《ギヤ比の調整》

モーターギョットのビスもゆるめる

サイドギヤカバーをはずす



各部のアタリがでるまで低速用の特ビニオンギヤ14Tを、取りつけて下さい。

バックラッシュ(ギヤのガタ)の調整は、少しすぎまなくようモーターを前進させます。減りましたらモーター止めのビスとモーターギョットのビスをしめつけます。ギヤ比交換の時も同様におこなって下さい。



《ギヤ比早見表》

ビニオンギヤ×アイドルギヤ%	ギヤ比	用 法
14T X No.1	9.47 : 1	加速を良くしたい時、走行時
14T X No.3	9.14 : 1	間を長くしたい時、路面状況
15T X No.1	8.94 : 1	大きい時(泥、草地など)
14T X No.2	8.80 : 1	スピードをだしたい時、路面
15T X No.3	8.55 : 1	抵抗が小さい時(硬い土など)
15T X No.2	8.21 : 1	

★走行時間とギヤ比の関係は8.21 : 1が一番走行時間が短く、9.47 : 1が一番長くなります。

【走行前の点検、チェック】

走行の前に右の写真の番号順にチェックして下さい。

★初走行の時、ニカド電池1パック位の時間はゆっくりと走らせ、各部の動きを見て下さい。

- ①各部のゆるみがないかをチェック。
- ②プロポ、動力電池の容量をチェック。
- ③フロントタイヤがプロポ通りに動くかをチェック。
- ④前進、バックがプロポ通りに動くかをチェック。
- ⑤各配線コードがしっかりとされているかをチェック。
- ⑥リアタイヤを手で回しスムーズに回るかをチェック。
- ⑦フロントタイヤを手で回し、ロックと空転をチェック。

★プロポレス4-wdsはプロポ用受信機電池を走行用ニカドバッテリーから取っています。車が走行中スピードが落ちてきたら、すぐに車を手元にもどしスイッチを切して下さい。走行用バッテリーがなくなると受信機に電気がいかなくなり車がノーコン(暴走)になります。

PROGRESS 4-wds セッティングガイド(2) (走行セッティング)

【直進性のセッティング】



- ①ステアリング操作しないのに左右にフラフラする時は…
 - トーンをチェック、少し増してあげる。
 - リンケージのガタをチェック、ガタが多すぎたり、逆に動きがしづらいものもよくない。
- ②直進している時、少し操作しただけで急に方向が変わったり、スピンしそうな時は…
 - 前後の舵角をチェック、舵角をもっとへらす。
 - リンケージのガタをチェック、特にリンケージの動きがしづいど舵が回るのに注意する。

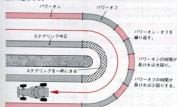
【コーナリングのセッティング】



- ①コーナで思ったより曲りすぎたり、スピンしたりする時は…
 - 前後の舵角をチェック、舵角をもっとへらす。
- ②コーナでふくらんでしまう時は…
 - アクセルコントロールでコーナをまがる練習をする。
 - アクセルコントロールをマスターしたら少しずつ舵角を増してみる。

【アクセルコントロールのしかた】

ステアリングを一回に回し、パワーのオン・オフを繰り返すことで小回りさせたり、大回りさせたりすることをアクセルコントロールといい、コーナリング操作の基本です。



【走行時の調整】

- ①プロポ、走行用電池を入れる。
 - ②送信機のスイッチを入れる。
 - ③受信機のスイッチを入れる。
 - ④プロポのスティックを右・左・前進・バック操作しその動きをチェックする。
- ★プロポのスイッチを切る時は、受信機を先に切り、後で送信機のスイッチを切る。この手順を怠るとモデルが勝手に走ったり、暴走することがあります。

【動かない時のチェック】

- ①走行用電源(ニカドバッテリー)のコンタクト及び各配線コードの接触不良。
- ②コントロールの接触不良。
- ③プロポの故障。
- ④他の電波の干渉。

【ダンパーとサススプリングの調整】

特に凹凸のはげしい路面やすべりやすい路面に合わせてセッティングして下さい。下の表は操縦者の感覚などにより差がありますが目安として参考にして下さい。

①フロントスプリングの値

スプリングの値	直進性	高速コーナ	低速コーナ
強	○(すべる路面△)	△(固オーバーステア)	△(固アンダーステア)
中	○	○	○
弱	○(凹凸ではX)	△(固アンダーステア)	△(固オーバーステア)

★フロントスプリングは、トーションプレートでメインの調整をし、コイルスプリングで微調整します。

②リアスプリングの値

スプリングの値	直進性	高速コーナ	低速コーナ
強	○(すべる路面△)	△(固オーバーステア)	△(固アンダーステア)
中	○	○	○
弱	○(凹凸ではX)	△(固アンダーステア)	△(固オーバーステア)

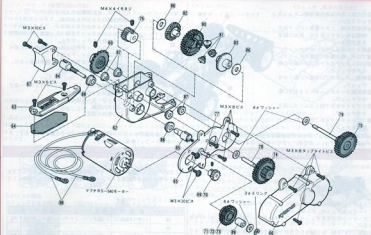
③ダンパーオイルの硬さはスプリングを硬くすればオイルも硬目にします。硬目のオイルは「No. 1880 ダンパーオイルセット」を使用して下さい。

【タイヤのセッティング】

ニューパターンはMUD STARタイヤは強力なグリップ力がありますのでスパイクをつける必要はありません。逆に路面によってはグリップ力が強すぎて逆に走り時間が短くなる場合があります。そんな時はパターンをニッパーなどで落とす方法もあります。



★MUD STARタイヤはパターンの先端がとがっていますのでコンクリートやアスファルトの上で走行させると、バッテリー1パックで先端のイボがへってしまいますので注意して下さい。



パーツリスト

①	品名	数量	②	品名	数量	③	品名	数量	④	品名	数量
①	フロントバンパー	1	②	ダンパーアーム	3	③	ギヤボックスカバー	1	④	コントロールスプリング	1
②	フロントベッ	1	③	ダンパーストップ	3	④	ギヤボックスパッキン	1	⑤	コントロールローラー大歯	1
③	フロントベス	1	④	ダンパーリング	3	⑤	モーターマウント	1	⑥	調整点	2
④	フロントシャフトホルダー	1	⑤	ダンパーワッシャー	3	⑥	サイドギヤカバー	1	⑦	パナチーコネクター	1
⑤	メインシャシ	1	⑥	ダンパーピストン	3	⑦	センターギョイド	1	⑧	モーターード	1
⑥	デッキプレート	1	⑦	スプリング	3	⑧	モーターカバー	1	⑨	2連減速機	1
⑦	センターボルト	2	⑧	スプリングスッパ	3	⑨	ビニオンギヤ(DAT)	1	⑩	駆動押入金具	1
⑧	チェーンガイド(A)	1	⑨	スプリングアジャスター	3	⑩	ギヤ	1	⑪	ラジエター	3
⑨	ギヤ	1	⑩	ダンパーエンド	3	⑪	アイドルギヤ(1)	1	⑫	フロントサーボギヤ	1
⑩	ギヤ	1	⑪	ダンパーボール	2	⑫	ギヤ	1	⑬	リアサーボギヤ	1
⑪	フロントアッパーステム	2	⑫	ダンパーゴムパイプ	1	⑬	ギヤ	1	⑭	フロントタイロッド	2
⑫	フロントロアステム	2	⑬	フロントホイール(R)	1	⑭	センターギヤ	1	⑮	リアタイロッド	2
⑬	セレーションホルダー	2	⑭	フロントホイール(L)	1	⑮	ハウスターギヤ	1	⑯	ボールエンド	7
⑭	ナックルスッパ(R)	1	⑯	リアホイール	2	⑯	ファイナルビニオンギヤ	1	⑰	フロントステアリングロッド	1
⑮	ギヤ	1	⑰	フロントインナーホイール	2	⑰	アイドルシャフト	1	⑱	リアステアリングロッド	1
⑯	フロントアッパーステムピン	2	⑱	リアインナーホイール	2	⑱	センターシャフト	1	⑲	スプリングロッド	1
⑰	フロントロアステムピン	2	⑲	ワンウェイクラッチ	2	⑲	ハウスターシャフト	1	⑳	ナイドストラップ(小)	6
⑱	トーションプレート	2	⑲	ホイールワッシャー	2	⑲	デフスバーギヤ	1	㉑	ナイドストラップ(中)	2
⑲	リアステムマウント	2	⑲	フロントタビ	2	㉑	デフベベルギヤ	3	㉒	ニカドストラップ	2
⑲	リアステム(R)	2	㉑	リアタイヤ	2	㉑	デフサイドギヤ(A)	1	㉒	ロールバー	1
㉑	ギヤ	1	㉑	フロントセンターシャフト	1	㉑	ギヤ	1	㉒	ボディック	1
㉑	ギヤ	1	㉑	フロントジョイント	1	㉑	デフジョイント(A)	1	㉒	フックピン	3
㉑	リアステムカム	4	㉑	フロントハブシャフト	2	㉑	ギヤ	1	㉒	ボディ	1
㉑	フロントナックルアーム(R)	1	㉑	リアハブシャフト	2	㉑	デフスバー	2	㉒	ドライヤー人形	1
㉑	ギヤ	1	㉑	フロントホイールシャフト	2	㉑	6メタル	6	㉒	アンテナ	1
㉑	ギヤ	1	㉑	リアホイールシャフト	2	㉑	6メタル	10	㉒	アンテナトップ	1
㉑	ボールシート	8	㉑	ホイールスッパ	2	㉑	アイドルギヤメタル	1	㉒	アンテナボトム	1
㉑	ビロボール	15	㉑	フロントスプロケット	1	㉑	コントロールP-C機	1	㉒	アンテナボトム	1
㉑	ダンパーアーム(R)	1	㉑	リアスプロケット	1	㉑	コントロールホーン	1	㉒	オイル	1
㉑	ギヤ	1	㉑	ラダーチェーン	1	㉑	コントロールビギット	1	㉒	部品ホルダー	2
㉑	ギヤ	1	㉑	ギヤボックス	1	㉑	コントロールナット	1	㉒	ギヤ	1

部品を紛失、破損された時

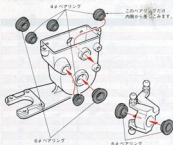
下記の品番、部品名、内容と18ページのパーツリストの品番を確認し、キットをお買求めいただいた機材店で品番(例、P-G-8)を書いてお求め下さい。近くに機材店がなく入手できないときは「家電サービス部」へ部品代に送料を加え(部品代¥1000以内の場合は切手、それ以上は現金書留)品番明記の上、直接申し込み下さい。尚、2品目以上お求めの方は、品番の中で一番高い料金のみお送り下さい。他の送料はサービスとなります。又、お申し込みになられたパーツはご送金いただいた日からお届けできるまで早くとも10日位かかりますので御了承下さい。

●尚、表示の送料は昭和59年10月15日現在のもので法改正等により変更になる場合がありますので御了承下さい。

品番	品 名	内 容	単 価	送料
P-G-1	フロントバンパー	(1)X1	300	70
P-G-2	フロントヘッドベースセット	(2)(3)各1	600	240
P-G-3	メインシャーシ	(5)X1	750	120
P-G-4	デッキプレート	(6)X1	600	120
P-G-5	サスアームセット	(8)(9)(10)各2	600	120
P-G-6	サスアームピンカッターセット	(15)(16)各2 部X4	350	70
P-G-7	リアサスマウント	(19)X2	500	120
P-G-8	オールシート	(22)X8	250	70
P-G-9	ビロボール	(28)X10	300	70
P-G-10	フロントリヤルアームセット	(31)(32)各1 部X4(圧入用)	600	120
P-G-11	リアリヤルアームセット	(33)(34)各1 部X4(圧入用)	600	120
P-G-12	リヤルスウェーデンセット	(35)(36)各1	200	120
P-G-13	トーションプレートとセンターポスト	(37)(38)各2	400	120
P-G-14	オイルダンパー	(39)(40)(41)(42)各2(組立用)	1,200	120
P-G-15	ダンパースプリングセット	(43)(44)(45)(46)各2	250	120
P-G-16	フロントダンパーアーム	(48)X1 (圧入用)	250	70
P-G-17	リアダンパーアーム	(49)(50)各1 (圧入用)	400	120
P-G-18	フロントホイール(ワンウェイアクスル入)	(51)(52)各1 部X2	1,600	120
P-G-19	リアホイール	(53)(54)各2	450	120
P-G-20	ホイールスッターセット	(55)(56)各2(圧入用)	200	70
P-G-21	MUD STAR フロントタイヤ	(58)X2	1,000	170
P-G-22	MUD STAR リアタイヤ	(59)X2	1,200	170
P-G-23	フロントホイールシャフト	(60)X2	500	120
P-G-24	リアホイールシャフト	(61)X2	500	120
P-G-25	フロントハーフシャフト	(62)X2	600	120
P-G-26	リアハーフシャフト	(63)X2	600	120
P-G-27	フロントジョイント&スプロケット	(64)(65)各1	650	120
P-G-28	ラダーチェーン	(66)X1	800	120
P-G-29	チェーンガイドセット	(67)(68)各1	300	120
P-G-30	ギヤボックスケース	(69)(70)各1 部X4 部X2(圧入用)	1,000	240
P-G-31	ギヤーマウント	(71)(72)各1	400	120
P-G-32	ギヤセット(高)	(73)(74)(75)(76)各1	600	120
P-G-33	ギヤセット(低)	(77)(78)(79)(80)各1	500	120
P-G-34	デフギヤセット	(81)(82)各1 部X3 部X2	600	120
P-G-35	デフジョイントセット	(83)(84)各1	500	120
P-G-36	サイドギヤカバー	(85)(86)各1	300	120
P-G-37	ギヤカーカバー	(87)X1(ポリカーボネート)	300	120
P-G-38	4本メタル	(88)X10	600	70
P-G-39	6本メタル	(89)X10	600	70
P-G-40	スビードコントロールユニット	(90)(91)(92)(93)各1 部X2 部X2	1,200	120
P-G-41	コントロールローPC板(ダイオード付)	(94)X1 部X2	500	70
P-G-42	ブレーキセット	(95)X4 部X2	300	70
P-G-43	コネクターリード線セット	(96)(97)各1 部X2	500	120
P-G-44	フロントサスペンション	(98)X1	400	120
P-G-45	リアサスペンション	(99)X1	400	120
P-G-46	タイロッドセット	(100)(101)各2 部X4	400	70
P-G-47	リンカーセット	(102)(103)各1 部X2	300	70
P-G-48	ホディフェンダーローバー	(104)(105)各1	200	120
P-G-49	ビスセット	ビス、ナット、六角レンチ等	700	120
P-G-50	デカール(プロダクション4000)	(106)X1	300	120
P-G-51	ホディフェンダーローバー	(107)(108)各1(ポリカーボネート)	2,200	240
P-G-52	ナイロニストラップ(小)	(109)X6	180	70
P-G-53	ナイロニストラップ(中)	(110)X6	300	70
P-G-54	ナイロニストラップ(大)	(111)X6	400	70
P-G-55	フックピン	(112)X5	100	70
1880	ダンパーオイルセット	ハードタイプ、ソフトタイプ2種輸入	500	240
1885	アンテナセット	(113)(114)各1	150	120
P-G-56	3速用部品	(115)X1	300	120

〈ベアリングの交換〉

ギヤボックスやニールシャフトの軸受には、メタルが使用してあります。より性能を上げるにはベアリングに交換します。



〈ル・マンモーターの交換〉

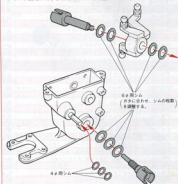


ブログレスに最適なル・マンレーシングモーターは下の表になります。なりでもル・マン360PTは1クラス大型のモーターで負荷の大きな電動バギーに最適で、スピード、走行時間、共にアップします。

品番	ル・マンモーターの種類	マッチング	定価
1893	240 S	不選	4,000円
1891	480 S	可	4,000円
1892	480 T	可	4,000円
1894	600 E	可	1,980円
1895	360 P T	最適	4,900円

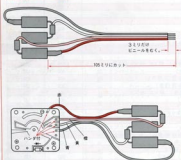
〈ベアリング周シムセットの使い方〉

ベアリング使用の時など軸方向のガタを調整するシム(ワッシャー)です。



★デフ調整用のシムもセットに入っています。

〈4連用抵抗 (SC-80) 配線図〉



品番	商品名	内容	定価	送料
CK-63	4φベアリング(2ヶ入)	前4φメタルと交換	1,800	70
MS-26	6φベアリング(2ヶ入)	前6φメタルと交換	2,300	70
SC-80	4連用抵抗	前進4速、ブレーキ2段。バック付になります。	490	120
SC-72	アクセサリーセット	ボディのアクセサリパーツ	500	120
CB-124	シンセージブーツ	スイッチの延び防止品	390	120
1883	フロントリアホビーオイル	デフ油注入摩擦減油オイル。軸受などに使用	1,500	240
PG-63	ベアリング周シムセット	4φ、6φ、デフ用の調整シムです	600	70